

I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任

県民の命と財産を守るための防災力の強化

R 7 予算案 2,952百万円
R 8～11債務負担行為 251百万円
(R 6 予算 57百万円)

①(新) 近畿府県合同防災訓練を実施

R 7 予算案 60百万円 (R 6 予算 -)
 ・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練及び奈良県防災総合訓練を一体的に実施し、大規模災害発生時における広域的な防災体制の強化や、防災関係機関の連携強化、県民の防災意識の高揚を図る



①倒壊ビル救出訓練の様子

②大規模災害発生時の応急対策を強化

R 7 予算案 131百万円 (R 6 予算 55百万円)
 R 8 債務負担行為 30百万円
 ・(新)南海トラフ地震等の大規模災害時に、応援部隊や支援物資等を迅速かつ円滑に受け入れるため、南部中核拠点の整備を推進 R 7、先行整備を予定
 ・広域防災拠点の運用について、具体的な検討や訓練を実施



②南部中核拠点先行整備 (イメージ)

③自主防災組織の育成支援

R 7 予算案 3百万円 (R 6 予算 3百万円)
 ・自主防犯・防災リーダー研修等により、自助・共助の体制整備を推進

④(新) 消防防災ヘリコプターを再整備

R 7 予算案 2,691百万円 (R 6 予算 -)
 ・奈良県消防防災ヘリコプターの老朽化に伴い新機体を購入



④新しい奈良県消防防災ヘリコプター (イメージ)

⑤(新) 消防学校移転整備を推進

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 -)
 ・消防学校教育の充実に向け、消防学校の機能強化にかかる検討・調査を実施

⑥(新) 奈良県救急医療管制システムを更新

R 7 予算案 58百万円 (R 6 予算 -)
 R 8～11債務負担行為 221百万円
 ・搬送時間の短縮を図るため、救急車積載器機との連携による患者情報入力省力化等の新機能を含む救急医療管制システムを再整備

〈問い合わせ先〉

知事公室 ①防災統括室 川本室長補佐 (内線 2 2 8 5)
 消防救急課 土井課長補佐 (内線 2 2 7 3)
 ②防災統括室 西川主幹 (内線 2 2 4 6)
 ③防災統括室 福永室長補佐 (内線 2 2 4 5)

④消防救急課 防災航空隊 高安主幹 (0742-81-0399)
 ⑤消防救急課 油谷課長補佐 (内線 2 3 9 8)
 ⑥消防救急課 土井課長補佐 (内線 2 2 7 3)

発達障害児（者）の支援

R7 予算案 93百万円 (R6 予算 88百万円)

① 当事者とその家族に寄り添い、 伴走する体制の充実

R7 予算案 60百万円
(R6 予算 60百万円)

- ・ 県発達障害者支援センターにR6に増員した相談員（7名）・地域支援マネージャー（2名）を継続して配置
- ・ 乳幼児健診等における発達特性発見スキル向上のための市町村向け研修を実施



② 早期に適切な発達支援につなげる 仕組みの構築

R7 予算案 15百万円
(R6 予算 16百万円)

- ・ 県総合リハビリテーションセンターにR6に増員した小児科医師（常勤3名、非常勤2名）を継続して配置
- ・ 発達障害医療を担える小児科医の育成のために専攻医（2名）を県総合リハビリテーションセンターに継続して受入れ
- ・ 臨床心理士を市町村に派遣し、診断前のアセスメントを行うとともに保健師等への助言や家族支援を実施

③ 当事者を中心に、地域でチームとして 支援する体制の整備促進

R7 予算案 18百万円
(R6 予算 13百万円)

- ・ 児童発達支援センターの設置や保育所への巡回支援等に取り組む市町村に対し補助
- ・ 地域の障害児支援の質を高めるため、障害児支援事業所等へのスーパーバイズ等を強化
- ・ 診断に携わる医師間の連携強化、地域で支援を行う福祉事業所・学校等のネットワークの構築



(支援イメージ)

〈問い合わせ先〉 全般	福祉医療部	障害福祉課	松本課長補佐	(内線 2 8 3 2)
①一部	医療政策局	健康推進課	山口参事	(内線 3 1 4 2)
②一部	医療政策局	病院マネジメント課	高木課長補佐	(内線 3 1 2 2)
③一部	医療政策局	疾病対策課	岩井田課長補佐	(内線 3 1 3 2)

高齢者が健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、要介護状態の予防や介護保険制度の持続可能性向上に取り組み、「高齢者にやさしい奈良県づくり」を目指す。

①介護予防の充実

R7予算案 1,112百万円 (R6予算 1,073百万円)

高齢者が健康で生きがいをもって暮らし続けられるよう、市町村が行う介護予防の取組を支援

○地域活動事例の展開

- ・(新)先進的な取組事例の普及や個別支援を実施

○地域支援事業交付金による財政支援



住民主体で行う「いきいき百歳体操」(大淀町)

②介護給付の適正化

R7予算案 7百万円 (R6予算 2百万円)

高齢化の進展に伴う介護給付費の増加に対処するため、市町村が行う介護給付の適正化を支援

○ケアプラン点検の強化

- ・ケアプラン点検に関する研修の実施、ケアマネジャーの派遣
- ・(新)有料老人ホーム等における不適切なケアプランの点検を支援

③介護人材の確保・定着

R7予算案 196百万円・R6. 2月補正予算案 252百万円
(R6予算 268百万円)

介護人材の確保と定着を図るため、介護ロボット等の導入による職場環境の改善と外国人材の活用を強化

○介護ロボット等を導入する介護事業所に対する支援

- ・介護ロボットの導入促進の支援をさらに強化
- ・(新)介護ロボット等の導入や活用に関する相談センターを設置

(介護ロボット等の一例)



装着型の介護ロボットを活用し、介護職員の身体的負担を軽減

○外国人材の活用に取り組む介護事業所に対する支援

- ・(新)海外における学校との連携や広報に要する経費を補助

○介護福祉士修学資金貸付等による介護人材確保の取組の推進

〈問い合わせ先〉

①医療・介護保険局	地域包括支援課	西川課長補佐 (内線2853)
②医療・介護保険局	介護保険課	垣田課長補佐 (内線2851)
③医療・介護保険局	地域包括支援課	福井課長補佐 (内線3211)

県立病院機構の経営改革への支援

R 7 当初予算案	3,382百万円
R 6・2月補正予算案	4,000百万円
(R 6 予算)	3,260百万円

①経営改善に必要な経費に対して貸付け

R 6 2月補正予算案 (新) 4,000百万円

- ・多額の赤字を抱える県立病院機構の経営安定化を支援するため、運営資金について、長期的に低利で貸し付け、金利負担を軽減

②政策医療の実施等のため運営費交付金により支援

R 7 予算案 3,382百万円 (R 6 予算 3,260百万円)

- ・県立病院機構が行う、救急医療や周産期医療等の政策医療の実施に係る経費を支援
- ・県立病院機構が行った、病院施設や医療機器の整備に係る財政負担を軽減



奈良県総合医療センター 救急医療



奈良県総合医療センター 周産期医療

〈問い合わせ先〉 医療政策局病院マネジメント課 高木課長補佐 (内線 3 1 2 2)

西和医療センターの移転整備

R 7 予算案 259百万円
(R 6 予算 131百万円)

①新しい西和医療センターの移転整備に向け、設計に着手

R 7 予算案 106百万円 (R 6 予算 18百万円)

- ・**新** 造成設計、建築設計
- ・道路交差点設計

②用地取得に向けた関連手続きを実施

R 7 予算案 154百万円 (R 6 予算 113百万円)

- ・用地取得に向けた補償調査、不動産鑑定調査等
- ・関係機関との協議等を実施



JR法隆寺駅南側地区付近図

〈建物概要〉

- 病床数：300床 (現病院：300床)
 - 建築延床面積：27,000㎡程度 (現病院：約20,000㎡)
 - 病院建物
 - ・地上4階建て程度
 - ・屋上ヘリポート、免震構造
- (災害拠点病院の指定を目指す)

〈問い合わせ先〉 医療政策局病院マネジメント課 高木課長補佐 (内線 3 1 2 2)